

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	障害福祉啓発事業			シート番号	A 一般事務事業 11-121
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課 課 評価責任者(課長名) 長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 3 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者基本法			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画			
5	事業実施の経緯	障害者に関する市民の関心や理解を促進するとともに、障害者の社会参加意識の高揚を図ることを目的に、「障害者週間」(12月3日～9日)の啓発活動の一環として実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	障害者に対する市民の関心や理解を促進するとともに、障害者の社会参加意識の高揚を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	1. 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会 大阪府・大阪市・堺市を含む府下の市町村及び障害者団体・地域福祉団体で構成する大阪ふれあいキャンペーン実行委員会に事務局市として参画し、ポスター等啓発物の作成や配布を行う。また、援助や配慮を必要としている方が周囲の方に知らせるためのヘルプマークについて、周知・啓発活動を行い、必要な市民に対しヘルプマークを配付する。 2. 障害者週間関連事業 障害者週間の周知を図ることを目的に、市内の4駅前でリーフレット等の配布を行う。また、健康福祉プラザで開催するイベント「障害者週間フェスティバル」で啓発物を配布する。 3. 心の輪を広げる障害者理解促進事業 将来を担う若者への啓発・広報活動の一環として、障害や障害者への理解や関心を促進するため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を募集し、作品集の小中学校等への配布や駅構内でポスターを掲示することにより、障害者への理解促進を図る。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会				

Ⅲ. 投入量

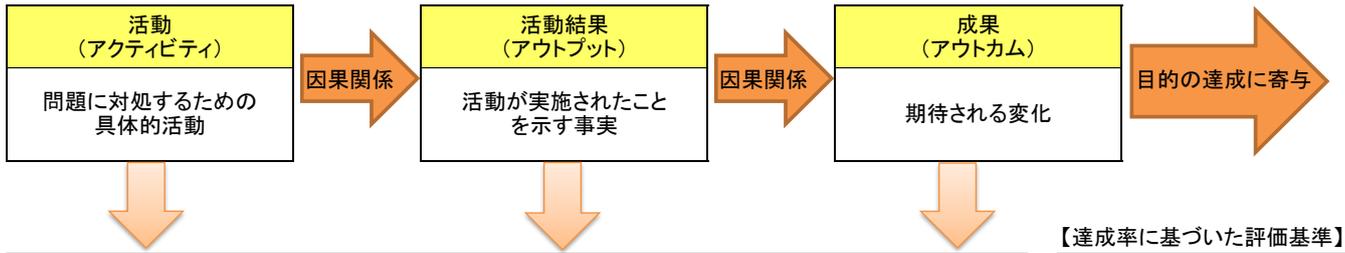
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	286	307	281	239	
主な事業費内訳	報償費	千円	92	87	51	70
	負担金、補助及び交付金	千円	130	131	131	131
	需用費	千円	60	88	99	35
	旅費	千円	4	1	0	3
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	810	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,106	1,127	1,101	1,049	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害福祉啓発事業	シート番号	11-121
-------	----------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>1. 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会 啓発物として「大阪ふれあいおりがみ」を約159,000部作成し、府内の小学3年生全員に配付した。同様に「大阪ふれあいすごろく」も約13,000部作成し、「大阪ふれあいおりがみ」と共に、各校へ12部ずつ配布した。また、それらを授業等で活用するため、教員向けの授業用スライドを作成し、公開した。内閣府が作成・配布する「障害者週間のポスター」を活用し、周知を図った。 当課、各区役所地域福祉課及び保健センター等を通じてヘルプマークの周知・啓発活動を行い、ヘルプマークを必要とする市民に対して2,292個配布した。</p> <p>2. 障害者週間関連事業 ヘルプマーク等を印刷した啓発物を2,500個作成した。うち約2,000個を大阪ふれあいおりがみ、「障害者週間フェスティバル」リーフレットとあわせ、11月30日に市内4駅(堺東・堺・中百舌鳥・泉ヶ丘)前で通行人及び駅利用者に対し、配布した。同様に約500個を12月8日、健康福祉プラザにて「障害者週間フェスティバル」来場者に対し、配布した。 12月1日・12月3日～7日、健康福祉プラザにおいて「障害者週間フェスティバルプレイベント」を、12月8日に「障害者週間フェスティバル」を開催した。</p> <p>3. 心の輪を広げる障害者理解促進事業 内閣府と共催で7月2日～9月5日の期間、「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を募集した。作文については16点、ポスターについては7点の応募があった。 特に優秀な作品3点を最優秀賞として選定し、内閣府へ推薦した。また、入賞作品7点の受賞者を対象に「障害者週間フェスティバル」内で表彰式を実施した。 大阪府、大阪市と合同で入賞作品を掲載した作品集を作成し、市内各学校及び図書館等に送付した。</p>						
	15	ヘルプマーク配付数	個	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				実績値	—	2,330	2,300	1,750
				達成率	—	80%	100%	
				評価	—	普通	良い	
		算出方法・設定根拠など						目標値は大阪府からの割当数。実績値は障害施策推進課、各区役所地域福祉課及び保健センターにおける配付数合計。
	16	心の輪を広げる障害者理解促進事業にかかる作文、ポスターの応募者数	人	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				実績値	30	30	100	30
				達成率	22	105	23	
				評価	73%	350%	23%	
			評価	少し悪い	大変良い	悪い		
	算出方法・設定根拠など						目標値は前年度実績をもとに設定。	

業績の分析

	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
17	<p>ヘルプマーク配付数については、大阪府のほか各市町村や市内関連施設等と連携し周知に努めたことから、目標値にほぼ等しい数のヘルプマークを必要とする市民に配付することができた。</p> <p>心の輪を広げる障害者理解促進事業にかかる作文、ポスターの応募者数について、平成29年度はキャップハンディ体験をした小学校等の協力を得てその児童から作文の応募が多数あったが、平成30年度は各小学校等に対し個別に協力依頼をしたものの、他の行事・イベント等と重なっていたことから応募数の増加には繋がらなかった。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。